

「ヘルペス手記」 増井 長興 79 歳

2014 年 2 月 4 日

メニエール病

何の前兆もなく突然めまい、吐き気が起き、胃袋の中に残っている物が全部吐き出され、なお胃液までしぼり出されさらに嘔吐が続く。近くの医院に駆け込むとメニエール病治療、20cc注射器5～6本点滴、一時間半、めまい止め薬の投薬手当で何となく落ち着く。

発症は当初年に一回位でしたが、二回、三回と発症が増え同病者の話から「難病のひとつで治癒する方法がなく発症したら手当を受けるだけ」と悲観的な言葉、もちろん手当をしてくれる医師からも治癒する言葉は皆なし、何をすることも気分は乗らず消極的になり不安を抱きながら日々を過ごしておりました。

たまたまネット検索でメニエール病の欄を開くと大阪高槻市、松本医院、漢方治療が目にとまりメニエール病は「完治する！！」の文字が眼に飛び込んできました。病の原因、治療法、難病で苦しまれた数多くの方々の完治までの体験談を繰り返して読むと目の前に後光が射してきたようでした。早速い松本医院に飛び込み松本院長の問診結果「治らぬ病気はありません！但し治すのは貴方です。」（この言葉は特効薬のひとつです。）自信に溢れた表情と言葉に辛い苦しい日常から解放される日が近づいたと胸中歓喜の声であふれました。

東洋医学と西洋医学の融合、漢方治療を主においておられる事に、さらに完治を確認しました。西洋医学で知名度の高い博士曰く「西洋医学は病体の手当であって病気を治癒させること出来ない。」また「間違った西洋医療が難病かさせて治癒を遠ざけている・・・東洋医学と西洋医学を融合して病気を治癒する・・・」と堂々と明言されている。

日本の漢方は奈良時代から長い年月「時間をかけて日本人の」体質に合う様に改良され世界最高の医学としても発展しました。しかし残念ながら、明治政府の方針により自然消滅の道をたどったといわれています。現在の日本の保険診療で認められる医学は西洋医学です。つまり病体の医学です、すなわち病気を治癒出来ない診療です。

世の苦しむ患者達と真正面から向き合い完治させることに日夜心血を注いでおられる松本院長の姿から、私を含め難病に苦しんでおられる方々も完治する事を確信しております。漢方医療に精進された先人たちと松本院長に感謝の念を抱きながら、とりあえず中間の手記をお伝えします。

治療前後の症状と状態

治療前

- 1 めまい嘔吐
- 2 下痢
就寝中 午前3時～5時 腹痛、下痢」年間2～3回
日中 突然腹痛下痢、排便すれば痛みが治まる時もあった、
酷い時は治療を受けた、診断の病名はウイルスの影響だろう？
- 3 歩行の不安定
真直に歩いているが左側に引かれる現象が続く
- 4 足首から指先までの痺れ
毎日午後から、座るとジンジンしびれる床に臥せて寝入るまで感じていた、
歩行には影響はなかった。
- 5 就寝中に痙攣が起きる
二ヶ月に一度位、主に左腿に発症

治療開始後

- 1 めまい、嘔吐、平成25年6月25日開始ご26年2月4日まで一度も発症なし
- 2 上記と同じく腹痛や下痢なし、但し四六時中、お腹がゴロゴロ、おなら（悪臭）が頻繁に出ていた約三週間続いた現在はおならは出るが悪臭なし
- 3 時折軽いふらつきはあるが歩行には不安なし
- 4 時折発症するが20～30分で消える
- 5 治療開始から一度も発症なし

七ヶ月間の治療で感じた事、漢方の効力は牛歩のようですが、確実に完治に向いている実感を得ております。病に罹るととにかく速効を求めますが、速効力のある薬は副作用という危険がひそんでいると改めて確認できました。